



2020年12月25日

各 位

会社名 株式会社 さ い か 屋
 代表者 取締役社長兼社長執行役員 岡本 洋三
 (コード番号 8254 東証第2部)
 問合せ先 取締役執行役員 村田 功治
 (TEL. 046-845-6803)

業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年10月14日に公表いたしました「2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年2月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2021年2月期通期連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	15,150	△690	△780	△880	△282.07
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	18,431	△18	△130	△130	△41.97

2. 公表の理由

2021年2月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的に見積もることが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づいて算出した業績予想を公表いたします。

業績予想の前提としましては、現時点では新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せないものの、経済活動の再開に伴い徐々に景気が回復し、当社グループにおける売上高も回復していくことを想定しています。

第3四半期以降の売上高については引き続き回復していくことを想定していますが、10月後半からの新型コロナウイルス感染症の新規感染者数増加の影響などから、第2四半期連結累計期間における緊急事態宣言に基づいた食品フロア以外の臨時休業や営業時間の短縮等による売上高の落ち込み(前期比28.9%の減収)を回復するには至らず、通期の売上高は前期比17.8%程度の減収となる見通しです。利益面につきましても売上高減収の影響のほか、希望退職関連費用等の計上などから減益を見込んでおります。

なお、上記業績予想は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や収束時期などの要因により変動する可能性がありますので、今後開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかに業績への影響を開示する予定であります。

※上記業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上